

みどりの 東北

MIDORI NO TOHOKU



Vol.
187

東北森林管理局

特集

烏帽子岳ブナとヒバ混交林(青森県) [提供：三八上北森林管理署]

広葉樹の有効利用に向けた取組 [資源活用課]

CONTENTS

■美しい森林づくり

地域のNPO法人やフォレスターチームと連携した取組の紹介・・・[秋田森林管理署]

■我が署の名所

五葉山(一.三五一m)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [三陸中部森林管理署]



特集



広葉樹の有効利用に向けた取組

資源活用課

東北森林管理局では「林業成長化」への取組の一つとして、民有林（国有林以外）から安定的に供給することが期待しにくい広葉樹について、計画的・安定的な供給に努めるとともに、販路開拓など有効利用について推進しています。

国有林野事業の一つである生産請負事業や販売事業の現場では、広葉樹の需要動向などを把握し、その時期や地域の需要に適応した採材を行うなど、広葉樹一般材（家具やフローリングなどに利用される）の販売促進の取組を行っています。また、経営計画においては、林分条件・施業条件（森林の各種条件）を考慮し、循環利用可能な広葉樹の伐採について推進する取組を行い、広葉樹の有効利用に努めています。

【広葉樹一般材の販売促進の取組】

1 取組の内容として

① 国有林材の委託販売先である市場等において、実際に販売する広葉樹を見ながら、一般材として流通している樹種や形質、取引価格等の傾向について若手担当者を中心として勉強会を開催しており、平成30年度は3回実施しました。



市場における広葉樹の勉強会

② 需要に適応した採材（使用目的に合わせた長さの丸太に切ること）を

推進するため、各署等では管内の素材生産業者や地方公共団体、関係団体等を参加者として、実際に生産請負事業現場において目合わせや意見・情報交換などを行う現地検討会を開



素材生産業者等との採材検討会

催し、平成30年度は21の森林管理署で開催しました。

③ 東北森林管理局管内では生産請負事業が始まると、各署等で広葉樹の販売も行われることから、一般材の販売状況を写真付きで見える化するなど、各森林管理署間で共有・分析し、需要にマッチングした販売を行えるよう取り組みました。



広葉樹単板工場での意見交換

2 取組の実績として

東北森林管理局管内の国有林材の販売において、広葉樹の販売量は一般材の比率が平成29年度の3.2%に比べ、平成30年度は4.5%と取組の結果として1.3%上昇しました。

【循環利用可能な広葉樹の伐採推進の取組】

伐採推進の取組

1 取組の内容として

これまで行っている人工林の森林整備等による伐採に合わせ、その周辺にあるなど効率的な施業ができる箇所で確実な天然更新が見込める広葉樹二次林について、広葉樹を有効利用できるように積極的に伐採指定（計画上伐採できるようにする）をしています。

2 取組の実績

この取組は平成29年度から実施していますが、広葉樹二次林の伐採指定した数量は平成29年度に7,600m³、平成30年度は15,000m³と倍増しました。

【今後の取組方針】

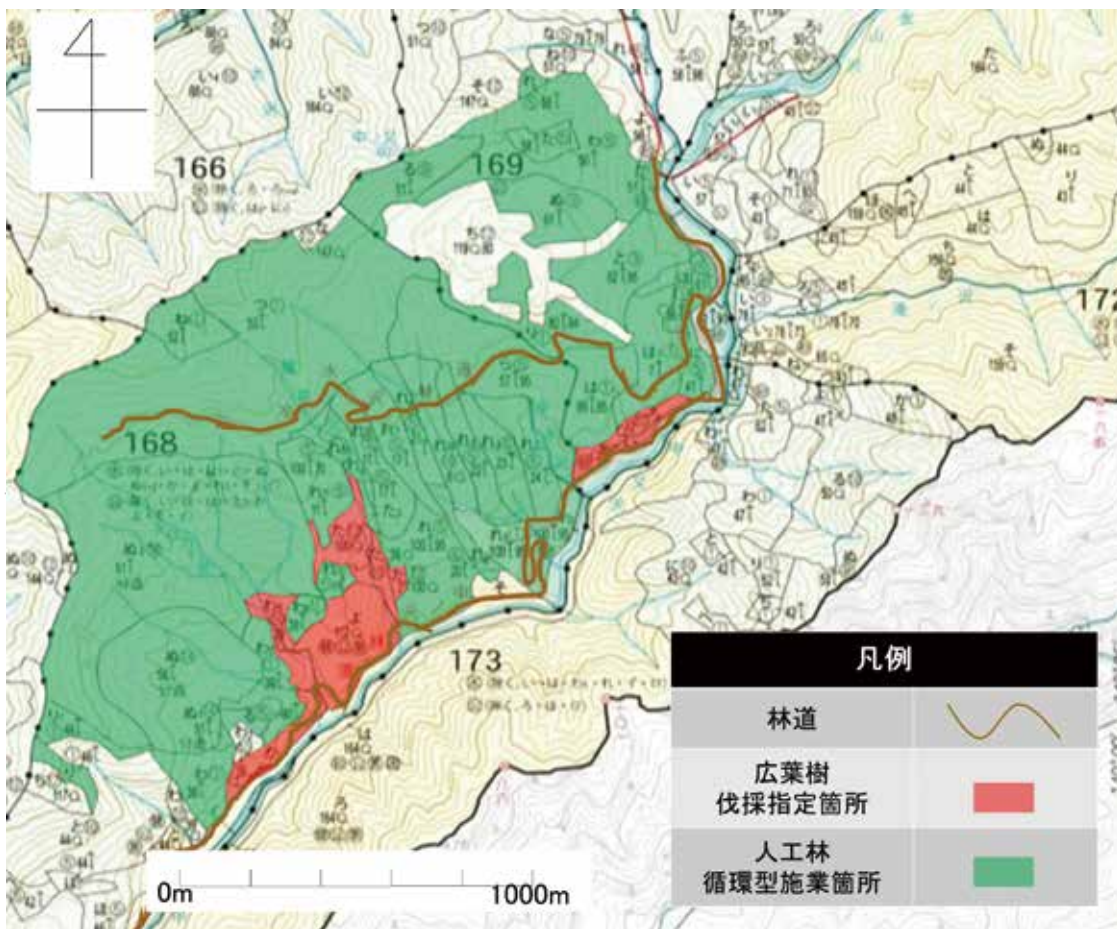
1 東北森林管理局管内では引き続き、広葉樹材の販売状況を定期的に把握・情報共有し、一般材の販売促進に向けた取組を進めます。

2 広葉樹材の需要動向に応じた採材を推進するため、検討会を継続的に実施していきます。

3 広葉樹の一般材比率の向上に向け

た委託販売市場での意見交換会の開催や、集荷範囲を勘案した販売拠点の開拓に取組ます。

4 循環利用可能な人工林の森林整備



広葉樹伐採指定箇所（図面）例



工芸品等

ちなみに...

【広葉樹の用途について】

人工林に多いスギやマツ類など針葉樹に比べて広葉樹は種類が多く、葉っぱの形や材質が異なる色々なタイプが存在します。日本国内には約300種類の広葉樹があると言われています。そのうち、木材としてよく使われるものは30種類ほどで、色々なタイプにより建築材をはじめ家具やフローリングなど、様々な用途に使われています。※例えば、住宅等の建築材・家具・楽器・伝統工芸品・玩具・バット・炭・紙など...

美しい森林づくり

地域のNPO法人やフォレストナーチームと連携した取組の紹介

秋田森林管理署

当署は秋田県中央部に位置する雄物川流域北部の3市1町にまたがる国有林を管轄しており、今年度地域や民有林行政と連携した森づくりの取組の一端を紹介します。

1. 外ノ山遊々の森の取組

外ノ山遊々の森は武家屋敷や桜並木などの観光地が人気の仙北市角館町に隣接する外ノ山国有林をフィールドに、仙北市、市民で構成される「角館まちづくり地域運営体」及び当署の3者で平成29年

度に協定を締結した、城下町に隣接する里山の活用を目的とした遊々の森です。

外ノ山国有林は地元の方が子供の頃によく遊んでいた場所だったとのことで、自然に直接に触れる機会が減ってしまった今の子供たちに、自然に触れるきっかけを提供したいという思いから協定が始まりました。

今までは歩道整備などが主体でしたが、今年は大曲支援学校の生徒にシイタケ樽木を使つての収穫体験や一般の方を対象とした自然

観察会など、季節に合わせた活動が予定されており、秋田森林管理署の職員も活動に加わりながら、協働で遊々の森づくりを進めていくこととしています。

春、桜の季節には武家屋敷と桜並木を一望でき、近くに來られた際はお立ち寄りいただきたいスポットです。

2. 一貫作業システム現地検討会

本年9月20日、美郷町大又赤倉の国有林において、林業事業体6社、雄物川流域フォレストナーチームなど総勢40名の参加により、一貫作業システム現地検討会を開催しました。

現地は72年生のスギを主体とした人工林で、複層伐(帯状)と一部地拵え、コンテナ苗の植栽までの一貫作業の現場です。

伐倒作業を行う前に、周辺の低木や雑草を刈り払いし、全木集材にて刈り払いした物も一緒に集めることで、地拵えの工程を簡易にすることを目的とした取組です。

当日は事業を請け負っている仙北東森林組合にご協力いただき、従来の事前刈り払いをしない場所を対象区に設定して、チェーンソー伐倒、ハーベスタ造材までを実演してもらい意見交換を行いました。

仙北東森林組合からは伐倒集材に先行して刈り払う作業のメリットについて、安全性の確保も含め、具体的な話題提供がありました。

伐採後の再造林率が低位な状況の民有林においては、再造林の促

進は喫緊の課題であり、そのためにも更新・保育作業の低コスト化は重要な要素を占めることから、今後も民有林関係者と連携し取り組んでいくこととしています。



協働で踏査の様子



看板等整備の様子



現地検討会の様子



現地検討会の様子



令和元年度局長感謝状 の贈呈について

岩手南部森林管理署遠野支署

東北森林管理局では、国有林野における国民参加の森林づくり等に自主的に取組み、その功績が顕著であった方々に対し毎年度、東北森林管理局長が感謝状を贈呈してまいりますが、今年度は、岩手県遠野市の特定非営利活動法人遠野エコネットに感謝状を贈呈しました。

同団体は今年で法人化して10周年を迎えましたが、法人化以前から様々な環境活動に取り組んでおり、特に平成26年度からは、同団体と遠野市

及び岩手南部森林管理署遠野支署の3者で締結した「遊々の森における体験活動に関する協定」に基づき、遠野市内の土淵小学校や綾織小学校の参加を得て、ミズナラの苗木



感謝状贈呈式(9月19日)
遠野市総合防災センター

の育成、「琴畑水源遊々の森」における植樹、保育活動などに長期・継続的に取り組んできたことが顕著な功績として評価されたものです。

局長感謝状の贈呈式は、9月19日(木)に遠野市内で開催された同団体の法人化10周年記念セミナーにおいて行われ、遠野支署長から同団体の千葉和代表に対して感謝状が手渡されました。

千葉和代表は「法人化を契機に社会のニーズに応えて



琴畑水源遊々の森での植樹活動
(5月7日)

森林づくり活動を始めた。これからの10年が課題。市民の皆さんが様々な形で森林に親しみ、その魅力を体感してほしい。」と話していました。

インターシップの受入れについて

津軽森林管理署

今年度、津軽森林管理署では、局からの要請でインターシップ生6名を受入れました。受入れ期間は、8月26日(月)～8月30日(金)までの5日間です。

当署は20代の若手職員が多く、現場の最前線で業務に励んでいる姿をインターン生に見てもらうことで、お互いが刺激になって相乗効果が生まれれば、と考えたところです。

5日間のうち3日は現場での視察や体験を行いました。前半2日間の現場では、人の手を加えることでの森林管理・資源の循環(川上から川



①収穫調査の様子

下)をキーワードとし、造林、収穫調査↓生産請負現場↓製材工場での視察、体験などを行いました。

収穫調査①を体験後、伐採された丸太をどのようなルートで林内から道路まで運ぶかについて考えてもらうことにしました。職員から、ルートを設定する際の注意事項(傾斜、守るべき施設など)を説明してもらい②、インターン生一人一人から図面にルート



②搬出計画検討の様子

を描いてもらい、なぜそのルートを設定したか、理由を発表してもらいました。

3日目の現場では、人の手を加えない森林管理(白神山の保全)、国有林野の利用(貸付、共用林野、分収林、遊々の森)、国民の安全・安心(治山)をキーワードとして現地の視察、体験を行いました。最終日は、森林官、署の若手職員3名、局・署での担当者を変えて、インターン生と



③意見交換の様子

の意見交換の時間を設けました③。

始めに、インターン生から期間中の感想などを話してもらい、今後の参考となる意見も出されました。

インターン生からの質問を受け、若手職員からは、入庁するまでの試験対策などを話してもらいました。

採用後の生活、転勤、持ち家についての質問もあり、ベテラン職員から経験に基づく

話しをしてもらったところで。

県庁や林野庁本庁でのインターンシップを経験・予定している学生もいたことから、これらの経験を通して、森林・林業への関心を深め、興味を持って頂き、是非とも国有林職員として活躍して頂ければと思っています。

インターンシップの様子は、津軽署のホームページでも紹介しています。



カラフルな果実

三八上北森林管理署 地域統括森林官 松尾 亨

秋のドライブや散策は色づく紅葉が目が行きがちですが、実りの森を楽しむにもいい季節。そんな森で、小粒ながらカラフルな色彩で楽しませてくれる植物達を紹介いたします。今回はクイズ形式で、写真とヒントを頼りにチャレンジしてね。

ヒント

①つる性の植物で卵形の葉に、黄色の仮種皮と赤い実で鳥たちを魅了します。ニシキギ科で生け花の材料に使われます。方言でヤマガキ。

②ミズナラ等の樹木に寄生し、根から水分や養分を吸い取る。常緑で厚みのある葉と、黄色の実をつぶすとネバネバと納豆のように糸を引くのが特徴。

③日当たりを好みつる性で、葉は3~5裂しブドウに似ている。果実がタマバエ等の虫えいとなりやすく、カラフルですが食べられない。

④高さ3m程の低木で、葉は楕円形で先端が細く、初夏に紫色の集散花をつける。名の由来は美しい実を、源氏物語の作者に喩えたことから。

⑤ブナ等の広葉樹の林で見られ、卵形の葉を輪生させる。花は初夏に緑色で線香花火のように集散する。名の由来は葉の形と、根が太く民間薬にすることから。

⑥日陰の林内を好み、葉は3回3出複葉で牡丹に似ている。花は黄色く1cm程と小さいが3~5個まとめて咲き、メギ科で、実は瑠璃色。

紹介した果実は、宝石にも勝るとも劣らぬカラフルさで魅了してくれています。残念ながら食べられませんが、今年は米もブドウもリンゴもいい実りのようです。山歩きの後は産直で実りを楽しんで下さい。私は米、麦、芋、ブドウの新酒が楽しみです。



①



②



③



④



⑤



⑥

ヒーロー・ハーベスタに逢えて

国有林モニターで感動

山形県 羽賀 益雄



颯爽と現れた
スーパーヒー
ロー・ハーベス

タ、立木を掴ん
だと思った途端
に地面から根元
が切り離され、
「シュシュシユ
と枝を払ったと
思った瞬間には、

手伝いをしていた半世紀前と比べようもな
いほどの技術の進歩とマシン化に驚くばか
りです。

玉切りがあっという間に完了と電光石火の
早業です。まるで子供たちの憧れ正義の味
方、機動戦士ガンダムが目前にいるよう
な錯覚に囚われました。係りの方のご説明
では、外国からの輸入マシンとか。平成30
年10月16日、岩手県滝沢市国有林モニター
現地見学会で目のあたりにした衝撃的な出
来事です。
興奮が冷めやらないままに、誰でも簡単
に出来るコンテナ苗の植え付け体験をさせ
ていただき、当時小学生だった私が祖父の

半世紀前を思い起こしてしまいました。
丁度、今の私の年代だった小柄な祖父は、
筋骨隆々で、雑木をノコギリで切り倒して
炭を焼き、切り開いた急斜面の土地を「ト
グワ」で掘り起こし、杉苗を背負っている
私の背中から一本・一本丁寧に大事そうに
植え付けていました。最もきつかったのは、
真つ直ぐに育つよう雪で倒れた杉を起
こし縄で固定する「杉起こし」。汗を滴らせ
ながら、体よりも長い柄に取り付けられた
大きな鎌を振って雑草を刈取る「下草刈
り」植え付け後、雪や雑草に負けずに真つ
直ぐ育つまでの15年間ぐらいの長い間、こ
の重労働のサイクルが繰り返されるので
す。林業は、自分の生きていく間の収益に
結び付かず、息子を飛び越え孫の代に役に
立つことを夢見た重労働で危険な仕事でし
た。

そんな祖父や父が手入れして美しさを
保ってきた山林が荒れ始め、熊の出没など
の出来事から里山が担う役割の重要性を意
識し、自分自身も何か行動しようとして国有林
モニターに応募し参加させていただき二年
目を迎えました。

これまで、国有林・民有林という意識を
持ったことはなく、国立公園や国定公園、
特に磐梯朝日国立公園など吾妻山を含めた
特別な山だけが国有林という認識でした
が、私たち人間を含めた動植物が生命を維
持するために掛け替えのない大きな役割を
担う広大な国有林の環境を整備し、大規模
災害未然防止のための治山ダム等の事業を
広い範囲で計画的に進めている現状を知
り、国土保全に対する認識を新にしたしだ
いです。

また、脳裏に焼き付いた一貫作業システ
ムの見学会は、林業の分野へ確実に光が届
けられようとしていると確信もし、東北森
林管理局山形森林管理署が中心となり、蔵
王山の松くい虫対策を講じて緑化を守ろう
としている現実を目のあたりにし、誰もが
当然のごとく恩恵を受けている山林に対す
る認識が、何か感謝の念に変わったような
気がしております。

森林官からの手紙

森林官も海の恋人？

青森森林管理署 平内森林事務所 森林官補 (10月1日付農林水産省出向)

山田 優志

このように平内町といえば、海のイメージが非常に強いですが、「森は海の恋人」と言われるように、豊かな海を陰で支えているのは平内町をはじめとする青森県の森林である。私は思っています。森林に降った雨は、川や雨に栄養分を含んだ水を供給します。その栄養分は植物プランクトンや海藻等に利用され、食物連鎖によって動物プランクトンやホタテ等



陸奥湾の海と山をつなぐ植樹祭

られる浅所海岸や、「ツバキ自生北限地帯」として天然記念物指定を受けた椿山、その裾野に広がる椿山海岸など優れた海岸美を誇る景勝地となつています。

私の勤務する平内森林事務所は、青森県の津軽半島と下北半島の間から陸奥湾に突き出た夏泊半島に位置する東津軽郡平内町にあります。養殖ホタテの生産量日本一である平内町は「ホタテの町」として知られています。また夏泊半島一帯が浅虫夏泊県立自然公園に指定されており、特別天然記念物「小湊のハクチョウおよびその渡来地」で知られる浅所海岸や、「ツバキ自生北限地帯」として天然記念物指定を受けた椿山、その裾野に広がる椿山海岸など優れた海岸美を誇る景勝地となつています。



植樹祭会場に上がる大漁旗

供から大人まで参加し、国有林というフィールドで漁業者以外の都市住民等にも「流域意識」を波及させるきっかけづくりが貢献できたと感じています。

の貝類、魚類等に繋がります。地元の漁業者はそうした「流域意識」を持っていて、昔から森林とうまく付き合ってきた。管内国有林においては社会貢献の森等の「国民参加の森林」が5箇所あり、その中の1つ「陸奥湾の海と山をつなぐ森」では、NPO法人白神山地を守る会や地元漁業関係者の協力の下で毎年植樹祭が行われています。この活動は平成22年に発生した海水温の上昇で陸奥湾のホタテが大量斃死したことをきっかけに、環境問題へ意識が高まったことから始まりました。私は青森森林管理署内で森林ふれあいを担当していた頃から当活動に関わっていますので、令和元年6月に開催された植樹祭で3回目の植樹の指導となりました。青森市内の高校生や大学生、子供から大人まで参加し、国有林というフィールドで漁業者以外の都市住民等にも「流域意識」を波及させるきっかけづくりが貢献できたと感じています。



陸奥湾と国有林

さて、「植樹指導3年やりました！」なんてことを前述していますが、私は入庁4年目、森林官業務の経験は約1年半のまだまだ新米で、逆に指導されることの方が多いです。先輩の森林官や青森森林管理署内の職員をはじめ様々な関係者の方々に助けられています。また日々の業務に取り組んでいます。また各事業の請負業者や地域住民の方の御協力があった、国有林野事業が成り立っているわけですが、その方々とのやり取りの中でも非常に多くの学びがあります。そういった方々への感謝の気持ちを忘れず、現場で学んだことを沢山吸収して活かしながら、今後とも業務に邁進してまいります。そして国有林の保全管理等を通じて、美しい海や地域の生活なども同時に守っていききたいと思っています。結びになりますが、平内町の山や海は非常に美しく風光明媚な景色がたくさんありますので、ぜひその自然に触れにしてください。



我が署の名所

五葉山(一・三五二m)

三陸中部森林管理署

五葉山は岩手県南東部に位置し、大船渡市、釜石市、住田町の2市1町にまたがり、北上山系では、早池峰山に次ぐ高さの山です。また、三陸沿岸部では一番高い山となっており、山頂からは北は山田湾から南は金華山までリアス式海岸の雄大な眺めも楽しむことができます。

五葉山の名前の由来については、阿弥陀如来・薬師如来・観音菩薩・虚空蔵菩薩・愛染明王の五仏を祀る事からとも、藩政時代に伊達氏にとって重要な山であったことから、「御用山」と呼ばれていたことに由来するとも言われています。

五葉山は樹木の種類も豊富で、中腹付近からは、ダケカンバ・ミズナラ・ヒノキアスナ



ヤマツツジ (3~4合目付近)



五葉山3合目から望む「鷹生ダム」



シャクナゲ (8合目付近)

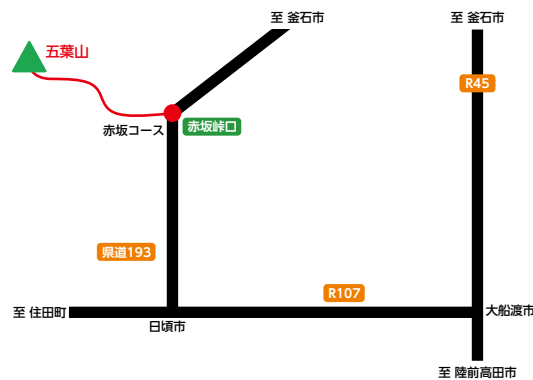


石楠花荘 (9合目)

ロ・ゴヨウマツ・コメツガなどから構成される見事な原生林があり、様々な森の表情を楽しむことができます。季節によってはヤマツツジやレンゲツツジ・ハクサンシヤクナゲ・ガンコウラン・コケモモなどの花々も楽しむことができます。五葉山と南側に広がる準平原は岩手県立自然公園に指定されるとともに、公園全域が鳥獣保護区に指定され、ニホンジカ・カモシカ・ニホンザル・イヌワシ・フクロウ等様々な野生動物も生息しています。

また、9合目にある石楠花荘は建物の老朽化が激しかったことから、平成30年9月に改修工事が始まり、同年12月21日に工事が完了、利用開始となりました。

五葉山への登山コースは数コースありますが、最短コースで登山者の最も多い「赤坂コース」へは、釜石自動車道宮守インターチェンジから国道107号線を大船渡市方面へと向かい、県道193号線を釜石市方面へ向かい赤坂



◎交通アクセス

大船渡市の国道107号から分岐した県道193号を、釜石市方面の赤坂峠口まで車で約25分。

林野庁 東北森林管理局 三陸中部森林管理署
〒022-0003 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢7番5号
TEL 0192-26-2161 FAX 0192-26-4279

峠口にありません。季節によって様々な顔を見せる五葉山に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

